



製品プラスチック等の一括回収・再商品化に向けた サウンディング型市場調査の実施について

1 調査の目的

令和5年度に環境省のモデル事業「プラスチックの資源循環に関する先進的モデル形成支援事業」の補助採択を受け、一部地域において実証事業を行いました。

この実証事業の結果により、排出されるプラスチックの種類や量を把握することができたことから、令和7年度以降、本市全域で分別収集の早期実現を図るべく、より具体的な製品プラスチックの再資源化について民間事業者の活用の可能性を調査するため、サウンディング型市場調査を実施します。

2 実証事業の結果から想定している事項

(1) 分別回収見込量

年間約2,000トン※（容器包装プラスチックと製品プラスチックの割合は約2：1）

※ プラスチック以外の不適物の混入量は含まない

(2) 施設所有状況

本市は中間処理施設及び一時保管施設を有していません。

(3) 搬入体制

本市または本市が委託した業者が、民間事業者が本市内に設置する中間処理及び一時保管施設に、収集の都度、個々の車両で直接搬入します。

(4) 施設設置条件

想定される分別回収見込量から、環境アセスメントの実施及び呉市都市計画審議会の審査が必要となります。

3 本調査の主な対話内容

(1) 受入場所及び面積

(2) 受入可能量

(3) 事業者において受入可能な基準

(4) 受入条件（荷姿、搬入条件）

(5) 受入開始可能時期

(6) 中間処理または再商品化の工程及び再商品化手法

(7) 中間処理または再商品化に要する費用（1トンあたり税抜き金額）

4 今後の予定

(1) 実施要領の公表 : 令和6年6月6日（木）

(2) 対話参加申込み : 令和6年6月6日（木）～6月28日（金）

(3) 対話実施日等の連絡 : 令和6年6月下旬

(4) 対話の実施 : 令和6年7月5日（金）～7月16日（火）

(5) 調査結果概要の公表 : 令和6年7月下旬以降